

内閣府・国際政治経済懇談会
第1回会合（2020年6月17日）

未曾有の需要ショックに備えよ

慶應義塾大学経済学部教授
東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）チーフエコノミスト
木村 福成

まずは保健政策

- パンデミックの制御可能なレベルまでの抑え込み。
- 国内外の人の移動の慎重な再開。
- これらは最優先課題。それができなかった場合の政治的・経済的コストは極めて大きいということが共通認識に。

供給ショックと需要ショック？

- COVID-19は供給ショックと需要ショックの双方をもたらしたとの論説が多い（たとえばBaldwin 2020）。
- しかし今の時点のアジアから見るとmisleading。
 - 中国の生産はすでに回復可能な状況。
 - 医療関係品等を除けば供給不足は存在しない（物価も下がっている）。
- 問題はこれからやってくる需要ショックがどれほどの規模でどれだけ長く続くか。
 - 需要ショック => 企業業績悪化、失業、金融機関不調、資産・外為市場混乱. . .
- マクロ政策とGVCs関連政策が鍵。

マクロ経済政策

- かつてない規模の金融・財政政策の発動
 - 被害者救済、マクロ刺激策：必要
- 需要ショックによる景気落ち込みをいかにして一時的なものにとどめるかが課題。
- 長期の財政状況の悪化、特に新興国経済の不安定化に懸念（Zen and Kimura 2020）。

生産ネットワークの改編は進むのか？

- まず、今のところ生産ネットワークはすぐに再開できる体制を維持していることを認識すべき（Kimura 2020）。
 - 景気落ち込みが一時的であれば、生産ネットワークは頑健。まずは危機を短期にとどめる努力が必要。
 - しかし、不況が長引くと、不可逆的な改編が不可避となる。
 - 医療関係品の国産化等の動きは他の製造業品にまでは影響しないはず。
- ICT導入は進むのか？
 - 加速される。しかし、アジアでは大規模なreshoringは起きないのでは。政治的・経済的に安定した新興国との分業は引き続き重要。
 - リモートワークの浸透は、越境サービス・アウトソーシング（第3のアンバンドリング）の余地を拡大する。
- 中国ファクター？
 - 当面の供給途絶はない。
 - 問題は、政治主導の中国経済のdecouplingがどこまで進むか？
- 国際分業体制の安定化のため、メガFTAsの推進は極めて重要。

参考文献

- Baldwin, Richard. (2020), 'The Greater Trade Collapse of 2020: Learnings from the 2008–09 Great Trade Collapse', *VOX CEPR Policy Portal*, 7 April. <https://voxeu.org/article/greater-trade-collapse-2020> (accessed 15 May 2020).
- Kimura, Fukunari. (2020) "Exit Strategies for ASEAN Member States: Keeping Production Networks Alive Despite the Impending Demand Shock." ERIA Policy Brief, No. 2020-03 (May).
- Zen, Fausiah and Kimura, Fukunari. (2020) "Maintaining Fiscal Sustainability during the Pandemic Crisis." ERIA Policy Brief (forthcoming).